

令和初 地域とつながる祭典「邇摩高フェア」

本校は明日から後期中間試験が始まります。県内の多くの学校はこの時期2学期期末試験なのですが、2学期制を採用している本校では前期・後期に中間試験と期末試験の計4回の試験を行います。（来年度からは3学期制になります）12月3日にこの中間試験が終わると、3年生はいよいよ邇摩高フェアに向けて最終準備、仕上げ調整して成功に向けたラストスパートの時期になります。これまで総合的な学習の時間（本校では『銀の哲学』と呼んでいます）を中心に、各系列での専門科目等で学んだことや身につけた技能を使って、『ファイブスターカンパニー』を運営する取り組みを行ってきています。この邇摩高フェアやファイブスターカンパニーでの取り組みは、学習を通して社会への理解や地域への愛着を深め、「地域社会に貢献できる人材」を育成することを目標としています。さらに、ファイブスターカンパニーは農業、ビジネス、福祉、生活、文化の5つの系列それぞれが学習した内容をもとに催しを企画し、系列の枠を越えて会社組織の運営を行い、専門的職業人として確かな知識・技能を身につけ、社会に貢献しようとする人材を育成し、地元地域で役立つことをこよなく愛する人材を育成することなど、地域の活性化や社会貢献などを会社の理念とする取り組みを行い、12月21日の土曜日に本番を迎えます。

11月から12月にかけて農業高校では〇〇祭、商業高校では◇◇デパートなどの名称で、地域の皆さんに学校に来ていただいて学習したことを披露しながら楽しんでいただくような企画が行われています。本校は総合学科ですので、農業高校の要素あり、商業高校の取り組みあり、福祉や家庭科で学んだことなど様々な企画でこのフェアを行います。このように多くの学習内容や取り組みが体験できることが、本校の“祭”の特徴なのかもしれません。フェア全体のテーマは『令和初 地域とつながる祭典』としていますが、それぞれの系列の企画テーマは次のとおりです。

系 列	企画テーマ
農 業	生命 ～2019 冬～
ビジネス	子どもからお年寄りまで 楽しめる品揃え
福 祉	学校の壁を越えて、地域とつながる
生 活	幅広い世代へ 子どもからお年寄りまで
文 化	懐かしの学校給食 ～昭和から平成～

各系列とも着々と準備を進めてきていますし、社長を中心とした会社組織で運営されるこの祭典は、生徒が主体となって運営しています。体育祭、文化祭などこれまで生徒が主体となって取り組んできた行事は、我々教員が予想する以上の取り組みを実践してくれています。今回の邇摩高フェアもおそらく想定外の祭典を行ってくれると確信しています。

